

グリーンイノベーション基金事業
「次世代デジタルインフラの構築」プロジェクトに関する
研究開発・社会実装計画（改定案）に対する意見公募手続の結果について

令和4年11月1日
経済産業省
商務情報政策局
情報産業課

「グリーンイノベーション基金事業「次世代デジタルインフラの構築」プロジェクトに関する研究開発・社会実装計画（改定案）」について、令和4年9月30日から同年10月31日まで意見公募手続を実施いたしました。

提出意見と提出意見を考慮した結果については以下のとおりです。なお、提出意見は同旨の内容等を踏まえて整理・要約しています

1. 意見公募の実施方法

- ・ 意見募集期間：令和4年9月30日（金）～令和4年10月31日（月）
- ・ 実施方法：電子政府の総合窓口（e-Gov）における掲載
- ・ 意見提出方法：e-Gov

2. 提出意見数

1件

3. 提出されたご意見の概要及びご意見に対する考え方

別紙のとおり。

御協力いただき、誠にありがとうございました。

提出されたご意見の概要及びご意見に対する考え方

	提出意見	ご意見に対する考え方
1	<p>・P5 中「次世代グリーンパワー半導体開発」に関して、電動車・産業機器向け、再エネ等電力向け、サーバ等電源機器向けが挙げられているが、「冷凍機及び家庭用機器に使用されるモーター」もかなり重要なものであるので、追加を行っていただきたい。 冷凍機及び家庭用機器に使用されるモーターにおいて、大幅にブラシレス DC モーターの使用が増える事を期待したい。</p> <p>・P15 に関連して、洋上風力発電については、浮体式洋上風力発電の導入を進めるべきと考える。 浮体式洋上風力発電は、台風などの場合において、浮体について時速 5km 程での移動が可能なのであれば、1 日半（36 時間）で 180km という様な距離の移動が可能であるので、事前に退避を行う事が可能であろうし、日本において問題となる台風による問題を幾分か軽減する事が可能であると思われる。 火力発電にも原子力発電にも問題があるが、周囲を海で囲まれた日本は浮体式洋上風力発電によってそれらを削減していくのが望ましいのではないかと考える。 安定して自然エネルギーを利用できるインフラ体制を作る事は重要性が高いと考えるが、次世代のインフラの構築において最重要となる課題であるので、浮体式洋上風力発電の技術開発及び導入を強く推進すべきと考える。</p>	<p>・今回の意見募集の対象ではありませんが、今後の検討の参考とさせていただきます。</p> <p>・今回の意見募集の対象ではありませんが、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>